

平成28年度事業計画書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月 31日

I. 基本方針

我が国の経済活動は、一昨年続く円安で、収益が改善した企業がある一方、世界経済連鎖による激しい為替変動やゼロ金利政策により、特定企業や個人消費においては充分安定した基調とは言えない状況にある。国内は依然続くエネルギー対策、東日本大震災からの復興対策、今後発生すると思われる自然災害へのリスク対策、国外では環太平洋連携協定(TPP)を始め、日本を取り囲むアジア諸国との国際的な政治・経済摩擦の厳しさが日本経済へ及ぼす影響は、ますます予断を許さない状況である。

当財団は、平成24年8月1日、全国展開できる公益財団法人に生まれ変わり、本年度は財団設立30周年を迎えることになった。引き続き設立趣旨に基づき自然科学・技術の研究者や学生への助成、青少年の創造性開発育成活動への助成を行うことにより、将来の我が国を背負っていく人材の育成に努める。

また昨年10月20日、その目的を達成するための事業活動の一環として、顕彰事業を新規事業として加えた公益財団法人として、新たに内閣府公益認定等委員会において変更認定された。これを機会に、更に一層自然科学・技術の教育や研究の促進および産業振興の奨励に努める。

平成28年度は以下の諸事業を推進することとする。

II. 事業内容

1. 自然科学研究助成事業

日本全国の試験研究機関、大学等が応募できることとし、従来の応募申請の実績のある大学以外に、本年度は更に主要な理系大学にも広報を行い、財団ホームページを通じ、我が国の産業基盤に関係する埋もれた萌芽的な自然科学・技術を発掘し助成を行う。本年度は、特に財団創立30周年記念として、研究助成採択枠の拡大を行う。

事務局としては、これまで不十分であった助成決定後の活動として、過去に助成を受けた研究施設等を訪問し、財団助成金による研究内容・設備等の確認や情報交換等を併せて行う予定である。

なお、平成28年度に助成金を受けられる研究者の方々には、当財団のホームページ上で紹介すると共に、平成29年7月7日(金)開催予定の成果発表会において其の研究の一端をご発表いただき、かつ研究成果を年報に掲載することにより、

広く周知を図ることとする。

また、本年度も以下の通り研究助成金の交付及び贈呈式並びに成果発表会等を行う。

<平成28年度自然科学研究助成金額>

A区分：200万円以下/件、

B区分：100万円以下/件、

(なお、継続申請者は3年まで、累計で3回までとする。)

本年度は、特に当財団創立30周年記念として、本年度のみ「30周年記念研究助成」S区分を設ける。

S区分：300万円以下/件

「30周年記念研究助成」は、当財団の設立趣旨に沿った、独創性に優れた研究、地域の特徴を生かした研究、特に若手研究者の研究室や新分野の立ち上げ及び挑戦的研究などへの助成を行う。

実質研究助成金総額約4,700万円。

<平成28年度研究助成金贈呈式>

平成28年7月8日(金)に平成28年度に助成金を受けられる研究者の方々に対し、研究助成金受領表彰式を開催する。また併せて、平成27年度に助成金を受領された研究者の研究成果の一端を御発表頂く。

なお、研究成果の内容については、当財団の年報および財団ホームページに掲載すること等により周知を図る。

<平成29年度自然科学研究助成事業>

国内の自然科学・技術の研究者を対象に、平成28年9月1日から10月18日まで、ホームページ上で公募を行い、選考委員による書類選考、面接審査により受領者の選考を行う。

2. 奨学金給付事業

昨年度と同様に、県内外の大学院博士後期課程に在籍する大学院生を対象に募集を行う。また、前年と同様に海外からの留学生も対象とする。平成28年度の募集に当たっては、従来の応募申請実績のある大学には広報を行うと共に、当財団ホームページを通じ募集を行う。本年度は、特に財団創立30周年記念として、奨学金採択枠の拡大を行う。

<平成28年度対象者> 月額10万円 約10名

<平成29年度奨学金給付事業>

国内の大学院博士後期課程に在籍する大学院生を対象に、平成28年7月16日から8月31日まで、ホームページ上で公募を行い、選考委員による書類選考、面接審査により受領者の選考を行う。

3. 青少年創造性開発育成事業

次世代を担う青少年に、自然科学・技術や産業の重要性を意識づけ、独自の創造性を育む、あるいは「自分で考える力を養う」などの先導的な日本国内で実施される教育的試みを、ホームページを通じて広く公募し、当財団の設立趣旨に則って選考し、助成を行うと共に、その趣旨を広く広報する活動を行う。

「茂原少年少女発明クラブ」活動事業等の支援、県内の高等学校工業教育研究会（略称：千工研）や工業高等学校が行うロボット技術を競う大会への支援、茂原市教育委員会生涯学習課が主体で実施する「自然科学実験イベント」等の自然科学・技術教育活動を引き続いて支援する。また、千葉大学主催の「高校生理科研究発表会」への支援を行う。また、千葉大学大学院生を対象に、ベンチャービジネスに繋がるアイデアコンテストである「なのはなコンペ（学生版）」への支援を行う。

<平成28年度助成総額枠> 約1,000万円

<平成28年度青少年創造性開発育成事業>

2回に分けてホームページ上で公募を行う。平成28年度第2回青少年創造性開発育成事業の公募は平成28年7月1日から8月31日に行う。

4. 顕彰事業の創設

当財団の設立趣旨をより広く社会に広報するため、設立趣旨に沿った研究・産業・教育活動での業績を讃えてより励みとする顕彰事業を実施することになった。平成28年度成果発表会（平成28年7月8日（金））と同日に開催される財団創立30周年記念式典において、この顕彰事業の創設及び平成28年度受賞者を発表する。

本顕彰事業は、本年度より毎年継続実施する。平成29年度の顕彰事業候補者は、平成28年9月1日から10月18日まで、ホームページ上で一般公募し、推薦（自薦も含む）を受けた候補者の中から、選考委員により選考、決定を行う。受賞者は、当財団のホームページ上で紹介すると共に平成29年7月7日（金）開催予定の平成29年度授賞式において表彰及び特別講演を行う。

<平成28年度顕彰表彰副賞> 100万円/件、年2件以内総額200万円以下。

5. 財団創立30周年記念事業の実施

平成28年度には当財団創立30周年を祝って、以下の特別事業を実施予定。

- ① 30周年記念として、当財団事業である奨学金（1名分120万円）、自然科学研究助成（A:400万円,B:300万円,S:1,200万円計:1,900万円）、青少年創造性開発育成事業（200万円）を増額助成する。
- ② 平成28年度から、顕彰事業を開始する。200万円。
- ③ 平成28年7月8日平成28年度成果発表会と併せて30周年記念式典を開催。追加費用100万円。
- ④ 「財団創立30周年記念誌」の発行。100万円。
- ⑤ 当財団ホームページの改訂。費用は積立て外、経常費用約50万円を想定。

・30周年記念事業費

費用項目	金額
奨学事業 : 10万円/月	1,200,000
研究助成事業 : Aコース(200万円)	4,000,000
研究助成事業 : Bコース(100万円)	3,000,000
研究助成事業 : Sコース(300万円)	12,000,000
青少年育成事業 :	2,000,000
顕彰事業 :	2,000,000
30周年記念式典追加分等	1,000,000
30周年記念誌発行	1,000,000
合計	26,200,000

6. 財団事務局内の整備

本年度は、当財団創立30周年であり、記念式典の開催、「創立30周年記念誌」の発行、ホームページの改訂を行う。公益財団法人の交流を通して他の公益財団法人とも親交を密にして情報収集を図ると共に、公益財団法人としての行政庁提出関係の書類の作成及び整備を行う。また、平成28年1月より利用が始まるマイナンバー制度への対応を行う。今後は更に当財団活動の広報に努め、引き続いてこれまでの当財団資料の整理、並びに過去の助成成果のデータベース化を進める。また事務処理の効率化・簡素化を行うと共に、ホームページの改訂、年報の電子書籍化等を通じて、当財団のPR並びに当財団の存在価値を高めるための財団活動の模索に努める。

以上

正味財産増減計算書（予算）（平成28年度 収支予算書）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度（予算案） H28.4.1～H29.3.31	前年度（予算） H27.4.1～H28.3.31	増 減 (当年)-(前年)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	87,955,901	85,096,276	2,859,625
基本財産受取配当	87,901,902	84,646,276	3,255,626
基本財産受取利息	53,999	450,000	△ 396,001
特定資産運用益	88,958	40,000	48,958
特定資産受取利息	88,958	40,000	48,958
流動資産運用益	241	0	241
受取利息（普通預金）	241		241
経常収益計	88,045,100	85,136,276	2,908,824
(2) 経常費用			
事業費	84,621,835	71,092,684	13,529,151
給料手当	18,103,994	13,136,006	4,967,988
その他人件費（慰労金等）	800,000	2,399,994	△ 1,599,994
福利厚生費	306,400	255,200	51,200
旅費交通費	500,000	500,000	0
通信運搬費	376,320	384,000	△ 7,680
消耗什器備品費	0	240,000	△ 240,000
消耗品費	633,600	633,600	0
修繕費	505,958	374,400	131,558
印刷製本費	0	80,000	△ 80,000
光熱水料費	223,680	249,600	△ 25,920
賃借料	1,728,000	1,968,000	△ 240,000
支払助成金（研究助成事業）	36,471,730	31,946,942	4,524,788
支払助成金（奨学事業）	14,373,577	10,384,942	3,988,635
支払助成金（青少年創育事業）	10,598,576	8,540,000	2,058,576
管理費	9,608,810	8,585,200	1,023,610
給料手当	4,525,998	3,284,002	1,241,996
その他人件費（顧問料・慰労金）	200,000	599,998	△ 399,998
福利厚生費	76,600	63,800	12,800
会議費	1,428,000	1,308,000	120,000
役員報酬費	1,133,322	1,057,000	76,322
通信運搬費	94,080	96,000	△ 1,920
消耗什器備品費	0	60,000	△ 60,000
消耗品費	158,400	158,400	0
修繕費	126,490	93,600	32,890
印刷製本費	0	20,000	△ 20,000
光熱水料費	55,920	62,400	△ 6,480
賃借料	432,000	492,000	△ 60,000
雑費	1,378,000	1,290,000	88,000
経常費用計	94,230,645	79,677,884	14,552,761
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,185,545	5,458,392	△ 11,643,937
当期経常増減額	△ 6,185,545	5,458,392	△ 11,643,937
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
創立30周年記念事業積立取崩金	26,200,000		
経常外収益計	26,200,000	0	26,200,000
(2) 経常外費用			
創立30周年記念事業積立金		26,200,000	
創立30周年記念事業費	26,200,000		26,200,000
経常外費用計	26,200,000	26,200,000	0
当期経常外増減額	0	△ 26,200,000	26,200,000
当期一般正味財産増減額	△ 6,185,545	△ 20,741,608	14,556,063
一般正味財産期首残高	53,921,118	74,662,726	△ 20,741,608
一般正味財産期末残高	47,735,573	53,921,118	△ 6,185,545
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 26,200,000	26,200,000	0
指定正味財産期首残高	430,393,000	404,193,000	26,200,000
指定正味財産期末残高	404,193,000	430,393,000	△ 26,200,000
III 正味財産期末残高	451,928,573	484,314,118	△ 32,385,545

正味財産増減計算書内訳表（予算）（平成28年度 収支予算書）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	公1	共通	小計	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
（1）経常収益							
基本財産運用益	79,160,310	0	79,160,310	0	0	8,795,591	87,955,901
基本財産受取配当	79,111,711	0	79,111,711	0	0	8,790,191	87,901,902
基本財産受取利息	48,599	0	48,599	0	0	5,400	53,999
特定資産運用益	80,062	0	80,062	0	0	8,896	88,958
特定資産受取利息	80,062	0	80,062	0	0	8,896	88,958
流動資産運用収入	216	0	216	0	0	25	241
受取利息（普通預金）	216		216			25	241
経常収益計	79,240,588	0	79,240,588	0	0	8,804,512	88,045,100
（2）経常費用							
事業費	84,621,835	0	84,621,835	0	0		84,621,835
給料手当	18,103,994	0	18,103,994	0	0		18,103,994
その他人件費（顧問料・慰労金）	800,000	0	800,000	0	0		800,000
福利厚生費	306,400	0	306,400	0	0		306,400
旅費交通費	500,000	0	500,000	0	0		500,000
通信運搬費	376,320	0	376,320	0	0		376,320
消耗品費	633,600	0	633,600	0	0		633,600
修繕費	505,958	0	505,958	0	0		505,958
光熱水料費	223,680	0	223,680	0	0		223,680
賃借料	1,728,000	0	1,728,000	0	0		1,728,000
支払助成金（研究助成事業）	36,471,730	0	36,471,730	0	0		36,471,730
支払助成金（奨学事業）	14,373,577	0	14,373,577	0	0		14,373,577
支払助成金（青少年創育事業）	10,598,576	0	10,598,576	0	0		10,598,576
管理費						9,608,810	9,608,810
給料手当						4,525,998	4,525,998
その他人件費（慰労金等）						200,000	200,000
						76,600	76,600
会議費						1,428,000	1,428,000
役員報酬費						1,133,322	1,133,322
通信運搬費						94,080	94,080
消耗品費						158,400	158,400
修繕費						126,490	126,490
光熱水料費						55,920	55,920
賃借料						432,000	432,000
雑費						1,378,000	1,378,000
経常費用計	84,621,835	0	84,621,835	0	0	9,608,810	94,230,645
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,381,247	0	△ 5,381,247	0	0	△ 804,298	△ 6,185,545
当期経常増減額	△ 5,381,247	0	△ 5,381,247	0	0	△ 804,298	△ 6,185,545
2. 経常外増減の部							
（1）経常外収益							
創立30周年記念事業積立取崩金	26,200,000						
経常外収益計	26,200,000	0	26,200,000	0	0	0	26,200,000
（2）経常外費用							
創立30周年記念事業費	26,200,000		26,200,000	0	0		26,200,000
経常外費用計	26,200,000	0	26,200,000	0	0	0	26,200,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 5,381,247	0	△ 5,381,247	0	0	△ 804,298	△ 6,185,545
一般正味財産期首残高	46,526,417		46,526,417		0	7,394,701	53,921,118
一般正味財産期末残高	41,145,170	0	41,145,170	0	0	6,590,403	47,735,573
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	△ 26,200,000	0	△ 26,200,000	0	0	0	△ 26,200,000
指定正味財産期首残高	389,973,700	0	389,973,700	0	0	40,419,300	430,393,000
指定正味財産期末残高	363,773,700	0	363,773,700	0	0	40,419,300	404,193,000
III 正味財産期末残高	404,918,870	0	404,918,870	0	0	47,009,703	451,928,573